



# 阪神高速 グループビジョン 205X (概要版)

2026年4月



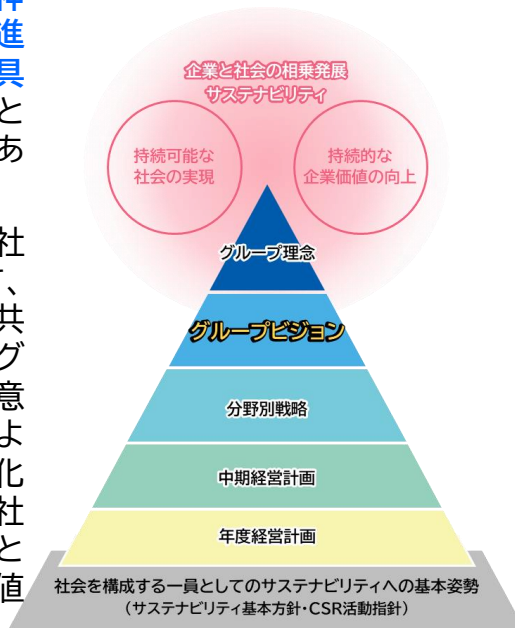
# はじめに

## 策定の目的

- 近年、社会情勢や経営環境は大きく変化し、人口減少・担い手不足、自然災害の激甚化、インフラの老朽化などの困難な課題が生じています。また、地球環境の保全、デジタル革命の加速、ライフスタイルや価値観の多様化などの社会の要請にも応えていく必要があります
- 目下の状況変化に加えて、今後予想されるリスクや社会課題、社会要請、技術革新に伴う社会・生活の変化を踏まえ、その中で阪神高速グループが提供する価値を明らかにして具現化を図ることで、お客さまの満足を実現するとともに、関西のくらしや経済の発展に持続的に貢献していくため、阪神高速グループの「意志ある未来」を示す「阪神高速グループビジョン205X」を新たに策定しました

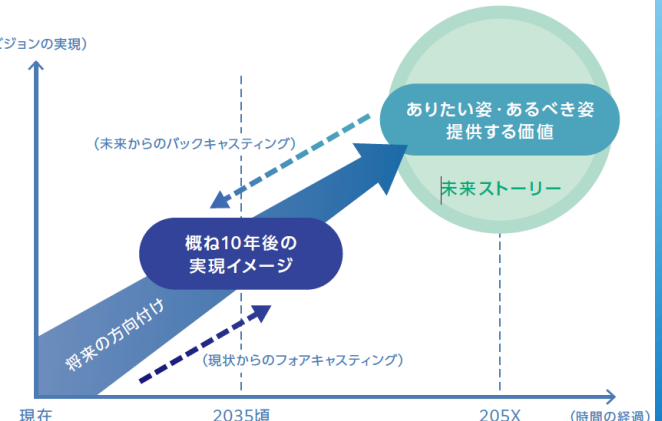
## グループビジョンの位置付け

- グループビジョンは、**阪神高速グループ理念「先進の道路サービスへ」の具現化に向けた方向付け**として、グループの「意志ある未来」を示すものです
- 阪神高速グループは、社会を構成する一員として、「サステナビリティ」を共通の価値観と認識し、グループビジョンに示す「意志ある未来」の実現によるグループ理念の具現化を通じて、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、持続的な企業価値の向上を目指します



## 実現の時期と道筋の設定

- 新たなグループビジョンの策定に当たっては、**遠い未来の方向性を明確に示すため、2050年頃をビジョンの実現時期として設定**し、それまでに予想される事業環境変化などを踏まえた「**未来ストーリー**」を想定の上、その中での阪神高速グループの存在意義として「**ありたい姿・あるべき姿**」を、社会・お客さまにとっての価値として「**提供する価値**」を設定しました
- また、未来からのバックキャストと現状からのフォアキャストを組み合わせ、205X年までの中間におけるより具体的な到達点として「**概ね10年後の実現イメージ**」を設定しました





# グループビジョンのフレーム

## 先進の道路サービスへ

### ありたい姿・あるべき姿

#### 【Mission Field】

#### 変わらぬ使命を サステナブルに遂行

日常だけでなく災害時にも  
「関西のくらしや経済を支える強靱で  
信頼性の高い安全・安心・快適な  
高速道路ネットワークサービス」を提供

#### 【Innovation Field】

#### 新たな価値を創出

- 01 自動運転など未来の社会ニーズに対応した「移動・モビリティの高度化」への貢献
- 02 自動車のための高速道路から「多様な機能を提供する都市インフラ」への進化
- 03 阪神高速のフィールドを超えた「関西さらにはグローバル視点での価値」の提供

#### 【Human Capital Field】

#### 人の成長と技術力・ナレッジの進化

企業価値の源泉である「人の成長と  
技術力・ナレッジの進化」により  
変化に挑戦し社会課題の解決に貢献

- ① 最先端技術により予測が高精度化している未来
- ② 災害等の危機を乗り越えられる未来
- ③ 再生可能資源の活用が進んでいる未来

- ④ 自動運転が一般化される未来
- ⑤ 通信技術が革新し自律化技術が普及している未来
- ⑥ 都市と生活スタイルの多様化が進んでいる未来

### 6つの未来ストーリー

#### 事業環境変化の想定

確実あるいは高い確率で顕在化する社会課題・リスク

- 人口減少、担い手不足、社会資本の老朽化
- 風水害の深刻化、大規模地震の発生

持続可能な社会の実現に向けた要請

- 脱炭素化・CO2削減
- エネルギー革命、食糧等の循環技術の進展

技術の進展とそれによる社会の変化

- IT技術の進化、仮想空間の活用、自動・自律化
- 社会・生活の多様化・パーソナライズ化



# グループビジョンの実現イメージ

阪神高速グループは、社会を構成する一員として、「サステナビリティ」を共通の価値観と認識し、グループビジョンの実現によるグループ理念の具現化を通じて、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、持続的な企業価値の向上を目指します

**保有技術を活用した課題解決**

保有する技術・情報  
を活用し、**インフラ施設**のマネジメントなど**地域や海外のニーズ**に応じた事業を展開しながら、**気候変動問題**にも対応

Innovation Field 03 2

**阪神圏の移動を高度化・最適化**

自動運転などの技術の進歩に応じた**高速道路の機能の進化**や、交通手段を連携させる**モビリティハブ**の構築により移動の高度化・最適化を実現

Innovation Field 01 1

**高速道路を活用した街づくり**

阪神高速に接続する**物流拠点**や**スマートシティ**など、新たな街のあり方を提案

Innovation Field 02 2

**移動性の向上と価値の創出**

パーソナライズした情報を提供し、**移動のアクセシビリティ**を高めるとともに、**充実した移動時間**を過ごせるサービスを充実

Innovation Field 01 2 3

**地域・社会との共創**

地域とインタラクティブに交流して**相互理解**を深め、保有データも活用しながら、**地域の連携強化**と**新たな魅力創出**を支援

Innovation Field 03 1 2

**強靭で信頼性の高いネットワーク**

高いアクセス性とリダンダンシーを備え、災害時にも機能を維持できる**レジリエントな高速道路ネットワーク**を構築

Mission Field 1

**安全・安心・快適の最大化**

デジタル技術を活用した**情報の処理・提供**により、日常の安全で円滑な交通を実現し、災害時にも**的確な情報発信とオペレーション**を行い**安全・安心**を確保

Mission Field 2 3

**人の成長と技術力・ナレッジの進化**

多様な人材と保有する**技術力・ナレッジ**を融合し、道路サービスを進化させ、**社会課題の解決**に貢献

Human Capital Field

**効率的で高度な維持管理**

作業の**自動化・省力化**や**安全性向上**を実現する技術と、道路の**ライフサイクル全般**にわたる**シームレスなマネジメント**により、**効率的で高度に高速道路を維持管理**

Mission Field 3

**高速道路の多目的な利活用**

再生可能エネルギーを含む**電気通信**などくらしを便利にする**インフラ基盤**として、阪神高速の**施設・空間**を多目的に利活用

Innovation Field 02 1



# 阪神高速グループの「意志ある未来」 (ありがたい姿・あるべき姿と提供する価値 / 概ね10年後の実現イメージ)

## 【Mission Field】変わらぬ使命をサステナブルに遂行

日常だけでなく災害時にも「関西のくらしや経済を支える強靱で信頼性の高い安全・安心・快適な高速道路ネットワークサービス」を提供

### ① 関西のくらしや経済の発展を支える安全・安心・快適な高速道路ネットワークを構築

- ・高い**アクセス性**と**リダンダンシー**を備え、災害時にも機能を維持できる**レジリエント**な高速道路ネットワークを構築

### ② 阪神高速道路の利用に関する安全・安心・快適を最大化

- ・**デジタル技術**を活用した**情報の処理・提供**により、日常の安全で円滑な交通を実現し、災害時にも**的確な情報発信とオペレーション**を行い安全・安心を確保

### ③ 日常だけでなく災害時にも道路ネットワークの機能を安定的に確保

- ・作業の**自動化・省力化**や安全性向上を実現する技術と、道路のライフサイクル全般にわたる**シームレスなマネジメント**により、効率的で高度に高速道路を維持管理

#### 概ね10年後の実現イメージ

- 共同事業者と連携し、淀川左岸線2期、淀川左岸線延伸部、大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線の整備を着実に推進
- アクセス性向上や防災機能強化のためのネットワークの拡充に向けた検討を推進
- 交通事故実績データの詳細分析に基づく事故対策を行うとともに、センシング技術を活用して交通情報を収集・処理・提供
- 渋滞緩和のため、AIなども活用したきめ細やかな情報提供を実施
- すべての料金所のETC専用化・無人化を実現し、料金設定の多様化にも対応した料金収受を安定的・効率的に実施
- 災害発生時には多様な技術を活用して迅速に被災状況などを把握し、情報発信、避難誘導、交通制御を的確に実施
- 大規模更新・修繕事業を着実に推進し、構造物の老朽化対策を進めるとともに、長大橋など特殊橋梁の中長期維持管理を実施
- 予防・予知保全や遠隔監視・点検などを活用した維持管理の効率化、高度化を推進
- 大規模地震発生時に緊急輸送路として活用できるよう耐震機能の強化を推進

## 【Human Capital Field】人の成長と技術力・ナレッジの進化

企業価値の源泉である「人の成長と技術力・ナレッジの進化」により変化に挑戦し社会課題の解決に貢献

道路サービスの価値の拡充・進化や新たな価値の探求・創出により社会に貢献

- ・多様な人材と保有する**技術力・ナレッジ**を融合し、道路サービスを進化させ、社会課題の解決に貢献

#### 概ね10年後の実現イメージ

- プロフェッショナルな人材への成長モデルを明瞭化し、社員が高い目標にチャレンジすることで、自主的成長への意欲を向上
- 阪神高速グループ各社の強みを効果的に発揮するよう組織体制や事業領域を強化・最適化し、グループの企業価値を最大化
- 技術力・ナレッジの伝承、活用、形成などにより、構造物の長寿命化や脱炭素化など社会課題への対応と省力化・省人化を推進
- 最新かつ安全なIT環境の下で、DXを活用した業務の見直しや情報資産の利活用などを進め、多様なパートナーと共に生産性向上と全体最適化を実現して、持続的に企業価値を向上
- 多様なパートナーとの相互理解と信頼性の向上に努め、地域・社会と共創する基盤を構築 など



# 阪神高速グループの「意志ある未来」

## (ありがたい姿・あるべき姿と提供する価値 / 概ね10年後の実現イメージ)

### 【Innovation Field】新たな価値を創出

#### 01 自動運転など未来の社会ニーズに対応した「移動・モビリティの高度化」への貢献

##### ① 自動運転車両をはじめとする様々なモビリティ、交通・輸送機能と連携し阪神圏全体の移動を高度化・最適化

- ・自動運転などの技術の進歩に応じた**高速道路の機能の進化**や、交通手段を連携させる**モビリティハブ**の構築により移動の高度化・最適化を実現

##### ② 一人ひとりのお客さまの立場で移動のしやすさを向上

##### ③ モビリティの進化や多様化に対応した新たな移動文化を創出

- ・パーソナライズした情報を提供し、**移動のアクセシビリティ**を高めるとともに、**充実した移動時間**を過ごせるサービスを提供

##### 概ね10年後の実現イメージ

- レベル4の自動運転車両が走行可能な環境整備に着手し、スムーズで安全な走行環境を提供
- 阪神高速と機能連携した物流拠点の整備に関わるなど、物流を効率化し人手不足などの課題解決に貢献
- 他の交通手段との連携や、パーソナライズされた情報・サービスの提供により、移動の利便性・効率性を向上
- 休憩機能やエンターテインメント機能など、お客さまの体験価値と利便性を高める多様なサービスを提供 など

#### 02 自動車のための高速道路から「多様な機能を提供する都市インフラ」への進化

##### ① 高速道路の構造物と周辺空間を活用して地域の生活の利便性や安全性を向上

- ・再生可能エネルギーを含む電気や、通信、情報処理など暮らしを便利にする**インフラ基盤**として、阪神高速の施設・空間を多目的に利活用

##### ② 高速道路を活用して人口減少社会への対応や循環型社会の形成に関する諸課題に対応・改善

- ・阪神高速に接続する**物流拠点**や**スマートシティ**など、新たな街のあり方を提案

##### 概ね10年後の実現イメージ

- 地域コミュニティ活性化などの課題に応えながら、地域と連携し、災害発生時には非常用電源設備を備えた避難場所や支援拠点として、高架下空間などを有効活用
- 阪神高速のネットワークなどを利用して再生可能エネルギー由来の電力を発電し、沿線の施設などに供給するよう検討を推進
- 地域の取組みに協力したライトアップの実施などにより、良好な景観を形成

#### 03 阪神高速のフィールドを超えた「関西さらにはグローバル視点での価値」の提供

##### ① 阪神高速道路ネットワークの存在を通じて異なる地域のニーズとソリューションなどを結び付け効果的に課題を解決

- ・地域とインタラクティブに交流して**相互理解**を深め、保有データも活用しながら、**地域の連携強化**と**新たな魅力創出**を支援

##### ② 保有する技術や情報を活用して地域や社会の課題を解決し新たな魅力を創出

- ・保有する技術・情報を活用し、**インフラ施設のマネジメント**など**地域や海外のニーズ**に応じた事業を展開しながら、**気候変動問題**にも対応

##### 概ね10年後の実現イメージ

- 広域周遊ルートを開発するなど、地域間をつなぐ広域連携のハブとしての役割を發揮
- 移動に関するデータや分析ノウハウの提供、データに基づいた街づくりのための提案などを行い、地域活性化を支援 など
- インフラ老朽化や技術者不足などの課題解決のため、ノウハウを活かした技術コンサルティング事業を幅広く展開
- モビリティ認証パッケージを幅広い分野に展開し、地域経済の活性化や社会課題の解決の手段として活用
- 2050カーボンニュートラル実現をはじめとした気候変動問題(緩和策・適応策)への対応を着実に推進 など